



パートナーのビッドが分からなくなったとき

2017.2.17
難波田 愈

よく、パートナーが約束していなかったビッドをすることがあります。これはレギュラーパートナーであっても珍しくありません。ましておや、初めてのパートナー、あるいはそれほど組んだことのないパートナーとの間ではしょっちゅう起きることです。いろいろ事前に打ち合わせをしておいたとしても、なお相談していなかったビッドが出てきます。だいたいすべてのシーケンスを約束しておくことなどは、ふつうの人にとっては、まず不可能なことです。世界選手権で競うクラスのプレイヤーならあり得るでしょうが（アメリカの Meckstroth-Rodwell ペアは数百ページにわたる約束書があるそうですが）1991年に日本で世界選手権が開かれたときに、日本代表チームのトレーニングをした Erick Kokish 氏が日本の代表ペアに対して書かせたパートナー間の了解事項に関する 300 ページほどの質問書があるのですが、そのときの日本の代表クラスのペア間でも質問事項の半分くらいは食い違いが見られたそうです。

本題にもどって、たとえば ♠KQJ108♥AK42♦A4♣A5 を持って 2NT オープンしてしまったとしましょう。するとレスポンドナーはパペットステイマンの 3C をビッドしました。（パペットステイマンは約束していました。しかしその後の展開についてまで確認するような時間はありませんでした）するとオープナーは 5 枚スペードがあるので、3S と答えます。それに対しレスポンドナーは 4C とビッドしました。これの約束がありません。どうしたらよいでしょうか？まず考えることは 3NT ではなかったということです。スペードがフィットしたのかも知れないし、そうではないのかも知れない、分からないけれども NT でなく スートコントラクトをやるつもりらしいと考えねばなりません。だからセカンド スートを示す必要があるでしょうか？4 枚のハートを示すために 4H とビッドすると、4D を飛び越してしまいます。4D を飛び越すとダイヤモンドに何も無いことを示す羽目になりかねません。これは後々のスラムを考える上では問題です。（パートナーがもしスラムを考えているとしたら）なんか分からなくなったときは、キュービッドをしておくのがいちばん無難です。だから 4D と言います。（3S にパートナーが 3NT といってきたならこれはあきらかにスペードフィットを否定しますから、ハートフィットを探しに行くために 4H ビッドはあり得ますが）レスポンドナーが 3NT でなく 4 レベルを答えているので、スペードアグリーをしたように思えます。そのときどのスートでしょうか？まだこの段階でスペード以外の何かのスートを見付けようとするでしょうか？ふつうはスペード以外は 3 枚以下です。ではクラブが 5 枚以上あると言ってきたのでしょうか？これに対してレスポンドナーは 4S と言いました。これはパスしていいのでしょうか？こういうときはいままでの経緯を考えます。4S にたどり着くのに入ったん 4C という回り道をしてきました。ビッドの原則は「回り道をしたら、それは強いハンドである」というものです。だからパ

スしないで何かつないだ方が安全です。

原則はわからないビッドが出てきたら普通はそれは強さを示しているのです、とにかく「つなげ」ということです。4C に対してオープナーは 4D と 1 番低いレベルでつなぐのが適切です。そのあと考えることは、自分が予想あるいは期待していた到達点に到達したときに「到達経緯の違い」を考えることが最重要です。特に「手間を掛けたらより強い」という基本原理を適用することが必要ということです。実際レスポンドナーのハンドは ♠A97♥64♦K53♣KQ1085 でした。7S あるいは 7NT がほとんどできます。